

平成19年度予算 施策別概要

312 治山・治水・海岸保全 対策の推進

(主担当部：県土整備部)

31201	土砂災害対策の推進	(県土整備部)
31202	治山対策の推進	(環境森林部)
31203	洪水防止対策の推進	(県土整備部)
31204	海岸保全対策の推進	(県土整備部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民の生命・財産が

(意図) 洪水や高潮、土砂災害などによる被害から守られている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	自然災害から守られる人家等の 資産額	目標値	2010	7兆4,485億円
			2007	7兆2,982億円
		現状値	7兆2,067億円	

河川、砂防、海岸において、自然災害を防止するための施設整備を実施することで、守られる人家及び家財の推定資産額

県の取組	土砂災害保全率	目標値	2010	25.6%	
			2007	25.0%	
目標項目 (副指標)	河川整備率	現状値	24.4%		
			目標値	2010	38.7%
			2007	37.9%	
			現状値	37.4%	
			目標値	2010	65.2%
			2007	64.0%	
		現状値	63.6%		

< 現状と課題 >

- ・ 平成16年に本県南部に甚大な被害をもたらした台風21号や全国的に頻発している局地的な集中豪雨による災害などにより、県民の自然災害に対する不安が高まっています。
- ・ 厳しい財政状況の中で、県民の尊い生命・財産を災害から守っていくためには、被害を最小化するという「減災」という観点から、より一層、重点的、効率的なハード対策とハザードマップの作成などにより住民に適切な情報を提供するソフト対策を市町と連携して進めていく必要があります。
- ・ 古くから山、川や海は、日本の産業や文化の形成に役立ってきましたが、近年は自然災害に対する防災機能に加え、親水性や自然豊かな水辺空間、憩いの森林空間の整備、多様な景観の保全などの付加価値が求められています。

< 平成19年度の取組方向 >

土砂災害対策は、県内各地に土砂災害危険箇所が多数あることから、市町と連携して土砂災害防止法に基づく警戒区域の指定や土砂災害に関する情報の行政と住民との共有化を進め、施設整備とあわせて被害の軽減に努めます。

治山対策は、山地災害の復旧及び予防対策を進めるとともに、森林の機能が低下している保安林について、間伐等による森林整備を実施し、森林の公益的機能の回復を図ります。

洪水防止対策は、治水施設の整備状況が、今なお低い状況にあるため、三重県河川整備戦略に沿った堤防整備などのハード対策の推進や浸水想定区域図の提供などのソフト対策を実施し、効果的・効率的な河川整備を進め、自然災害に対する安全の確保を図ります。

海岸保全対策は、高潮・波浪等による被害の恐れがある海岸において施設整備を進め、災害に対する安全性の向上を図ります。津波に対しては、避難啓発看板設置等のソフト対策や大型防潮扉の開閉操作自動化を進め、被害の軽減に努めます。

また、施設整備をすることにより、防災機能の向上だけでなく、自然豊かな水辺空間の創出や河川や海岸の景観・環境の保全に努めます。さらに、各市町や地域住民と連携し、防災訓練等のソフト対策を実施し、地域の防災力の向上を図ります。

<主な事業>

砂防激甚災害対策特別緊急事業【基本事業名 31201 土砂災害対策の推進】

予算額： 4,500,000千円 3,800,000千円

事業概要：土石流等により激甚な災害が発生した一連の地区において、再度災害を防止するため、一定期間内に砂防堰堤等の対策工事を実施します。

国補通常砂防事業【基本事業名：31201 土砂災害対策の推進】 *

予算額： 2,364,000千円 2,095,000千円

事業概要：流域における荒廃地域の保全及び土砂災害から下流部に存在する人家、耕地、公共施設等を守ることを目的として砂防堰堤、溪流保全工等の砂防設備の整備を行います。

治山激甚災害対策特別緊急事業【基本事業名：31202 治山対策の推進】

予算額： 1,109,590千円 506,712千円

事業概要：平成16年の台風21号により甚大な災害が発生した地域において、再度災害防止のため、引き続き治山ダム等の対策工事を実施します。

治山事業【基本事業名：31202 治山対策の推進】

予算額： 1,917,975千円 2,502,088千円 *

事業概要：山地災害の防止や良質な水の安定供給など県民生活の安全を確保するため、治山施設の整備を進めるとともに水源地域等の森林の造成整備を総合的に実施します。

河川激甚災害対策特別緊急事業【基本事業名：31203 洪水防止対策の推進】

予算額： 1,600,000千円 1,600,000千円 *

事業概要：平成16年の台風21号で甚大な災害を受けた船津川において、再度災害を防止するため、短期間で集中的に護岸や築堤などの河川改修を実施します。

(一部重)都市河川改修事業【基本事業名：31203 洪水防止対策の推進】

予算額： 640,000千円 780,000千円

事業概要：洪水等による災害を防止・軽減するため、河川堤防の整備等を行います。なお、整備にあたっては自然環境や生態系に配慮します。

(一部重)海岸高潮対策事業【基本事業名：31204 海岸保全対策の推進】

予算額： 2,635,600千円 1,890,000千円 *

事業概要：高潮対策として人工リーフや堤防などの整備と、津波対策として大型防潮扉の開閉操作自動化を進めます。

(重)浸水想定区域調査【基本事業名：31203 洪水防止対策の推進】

予算額： 39,000千円 27,000千円

事業概要：洪水等による災害を軽減するため、緊急度・重要度の高い主要中小河川で浸水想定区域図を作成します。

(一部重)国補砂防等調査【基本事業名：31201 土砂災害対策の推進】

予算額： 60,000千円 105,000千円

事業概要：土砂災害から、県民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域の明確化、警戒避難体制の整備支援等のための調査を実施します。